

観光業界で働くことへの意識調査

 やまところキャリア

調査結果のサマリー

- 企業側の**採用ニーズはコロナ前と同水準まで回復**してきている。
- 一方で、次回の転職時に**観光業界を希望する**と回答した求職者は全体の約半数。
 - ・ 特に**若い世代（20代～30代）ほど、観光業界を希望しない**傾向が強い。
- 観光業界を**希望する理由**は、「これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから」「グローバルな環境で働きたいから」「やりがいのある仕事だから」が上位になっている。
- 観光業界を**希望しない理由**は、「コロナなどの影響を受けやすい業界だから」「土日や長期休暇に休みが取れないから」「シフト制で労働時間が不安定だから」が上位になっている。
- 仕事を探す際に重視する項目では「仕事内容」「就業環境」「収入」の順に重要度が高くなっている。
- 採用の難易度が上がり、今までのようなレベルの人材確保ができなくなる可能性が高い。
機会損失を防ぐためにも、**できるだけ早いタイミングで採用活動を再開する**とともに、**待遇の改善や多様な働き方・人材を受け入れる必要がある。**

調査結果から考えられる今後のシナリオ

調査結果より、コロナの影響を受けて別の業界への転職を考える方が多くなり、**観光業界での就業に消極的**になっていることが分かる。

海外でも同様の傾向が見られている。規制緩和が進む欧州では、旅行に対する需要が劇的に回復している。しかしながら、パンデミック中に雇用を大幅に削減した航空会社や空港は、その需要に追いつけず、人手不足により発着数の削減に追い込まれている。また米国でも景気回復に伴い、飲食・宿泊業の人手不足が深刻化しており、大手有名企業を中心に人材確保のための賃上げが相次いでいる。スターバックスでは平均時給が約17ドル（約2,200円）に引き上げられたことが話題になっている。

欧米諸国に比べて規制緩和が遅れた日本だが、観光への需要が高まってきており、今後欧米諸国と同様に、人手不足が深刻化すると予想される。

調査結果から考えられる今後のシナリオ

観光客数の回復と、観光業就業者の減少により、いくつかのシナリオが考えられる。

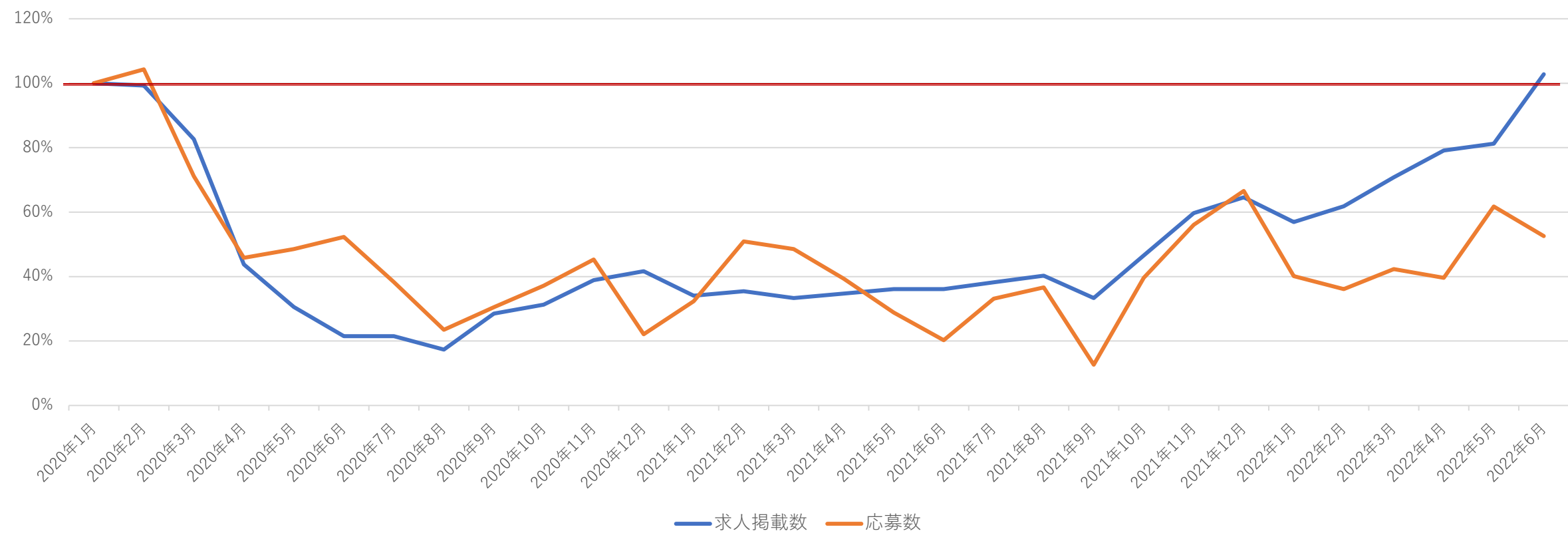
- | | |
|--|----------------|
| 1. 賃金を上げることにより、以前の観光業の就業者を呼び戻す。 | → 【賃金アップ】 |
| 2. 従来は補完的な役割だった非正規を大きな戦力とする。
(副業希望者、アルバイト・パート、派遣、業務委託等) | → 【副業解禁/非正規活用】 |
| 3. 外国籍やシニア人材など多様な人材を受け入れる。 | → 【多様な人材の受入】 |
| 4. 少人数でも回せるように、業務効率化を行う。 | → 【観光DX化】 |
| 5. 少ないスタッフでも長時間残業で乗り切る。 | → 【過労働】 |
| 6. 上のいずれも実行できない企業は、
従業員不足により、事業の再開が限定的になる。 | → 【機会損失】 |

今後、求職者の観光業離れが進んでいくと、採用の難易度が上がり、今までのようなレベルの人材確保ができなくなる可能性が高い。機会損失を防ぐためにも、できるだけ早いタイミングで採用活動を再開するとともに、待遇の改善や多様な働き方・人材を受け入れる必要がある。

観光業界の採用動向

2022年6月には、**求人掲載数がコロナ前の水準まで回復**しているが、
一方で**応募数は50%程度の回復に留まっている**。

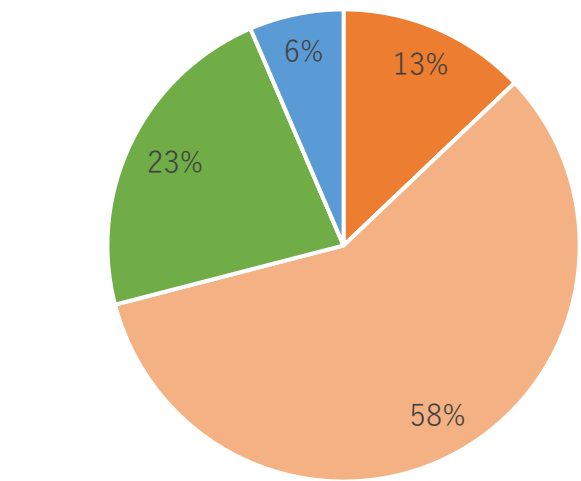
「やまごところキャリア」における求人掲載数と応募数の推移（2020年1月を100%とした場合）



観光業界の採用動向

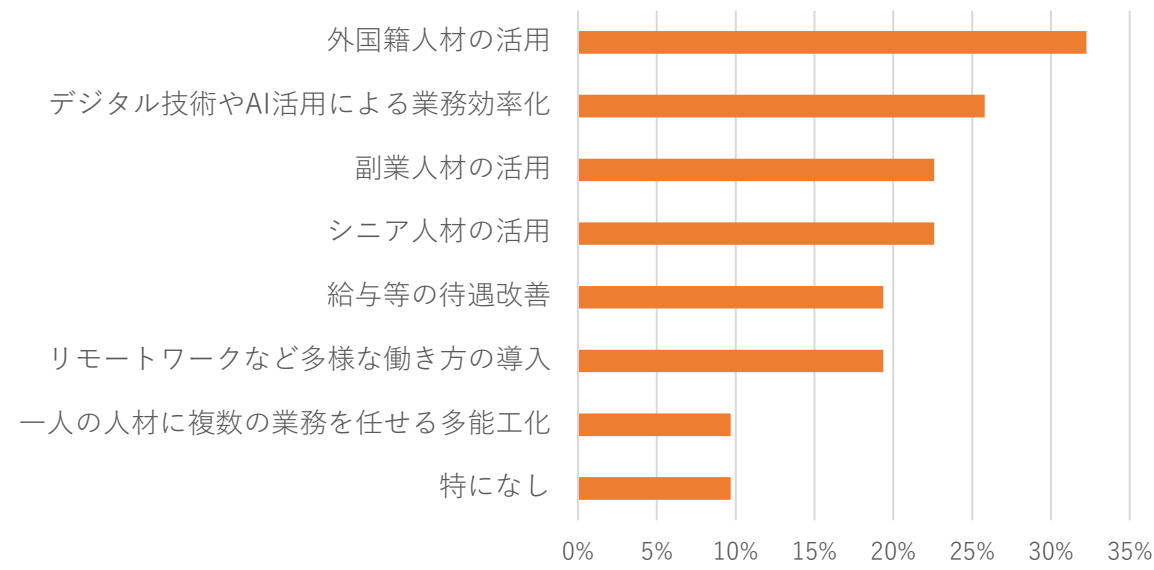
やまごところキャリアが企業の採用担当者に「中途採用に関する調査」を実施したところ、
「人手不足感」についての質問では、**71%が「不足している」と回答**している。
「人材不足への対処法」についての質問では、「**外国籍人材の活用（32%）**」、「**業務効率化（26%）**」、「**副業人材の活用（23%）**」、「**シニア人材の活用（23%）**」を検討していると回答している。

貴社の「人手不足感」について教えてください。（n=31）



- とても不足している
- 不足している
- ちょうどよく充足している
- 余剰を感じている
- 余剰をととても感じている

今後想定される「人材不足への対処法」として
検討していることを教えてください。（n=31, 複数回答可）



調査概要

目的

新型コロナウイルス感染拡大から約2年半がたったタイミングで、
インバウンド専門の求人サイト「やまところキャリア」に登録している求職者が、
観光業界で働くことに対してどのような意識をもっているかを把握する。

調査対象者

やまところキャリア登録会員約25,000名

調査の時期

2022年6月10日(金)～6月19日(日)

調査方法

WEB上のアンケートフォームより入力

調査項目の概要

転職・就職活動状況の調査

回答者数

208名

2020年9月からやまところキャリアに登録している求職者に
「転職・就職活動状況調査」と「地方勤務の意識調査」を
3か月に1回実施し、求職者の動向を定点調査しています。
2022年6月分で8回目の調査になります。

回答者の属性 [性別・国籍・年齢別合計]

		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
性別	男性	4	15	13	20	27	9	88
	女性	6	38	27	33	15		119
	無回答		1					1
国籍	日本	5	31	32	51	41	9	169
	外国籍	5	23	8	2	1	0	39
合計	人数	10	54	40	53	42	9	208
	比率	4.8%	26.0%	19.2%	25.5%	20.2%	4.3%	

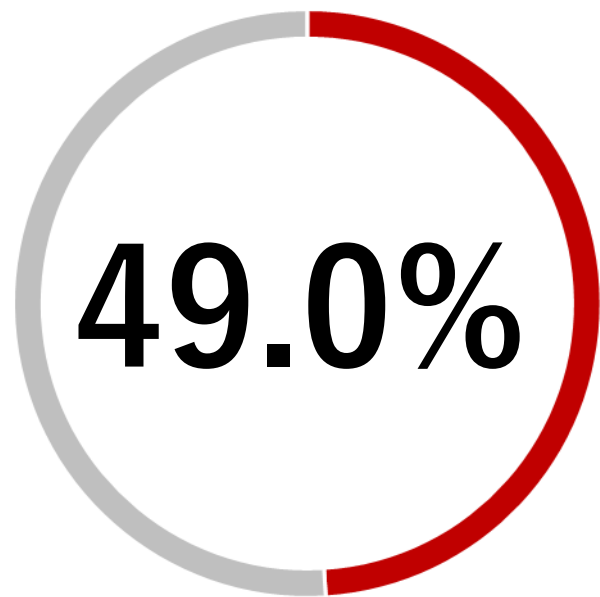
回答者の属性 [収入分布]

	200万円以下	200～400万円	400～600万円	600～800万円	800～1000万円	1000万円以上	合計
人数	46	92	48	17	1	4	208
比率	22.1%	44.2%	23.1%	8.2%	0.5%	1.9%	

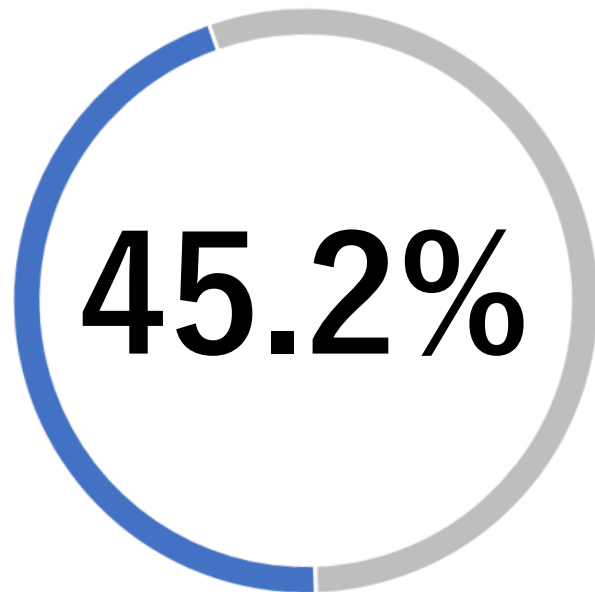
回答者の属性 [最終学歴]

	中学校/高等学校 卒業	短期大学/専門学校 卒業	大学 卒業	大学院 卒業	合計
人数	11	42	134	21	208
比率	5.3%	20.2%	64.4%	10.1%	

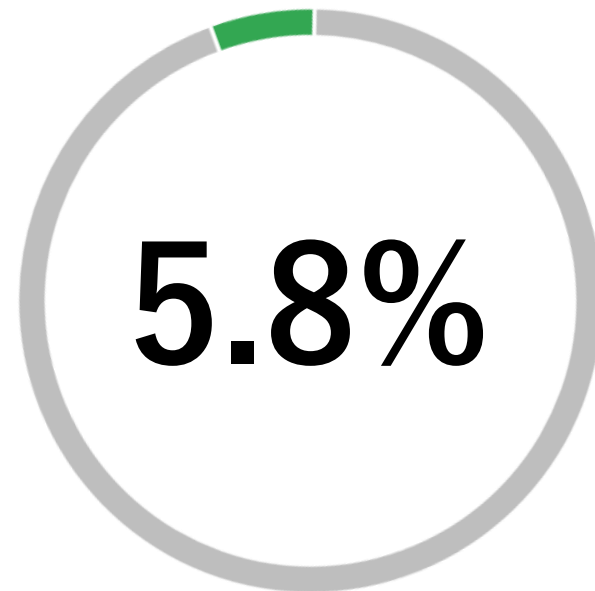
転職する場合の希望業界調査：全世代（2022年6月調査）



「観光業界」
を希望する



「観光業界」以外
を希望する

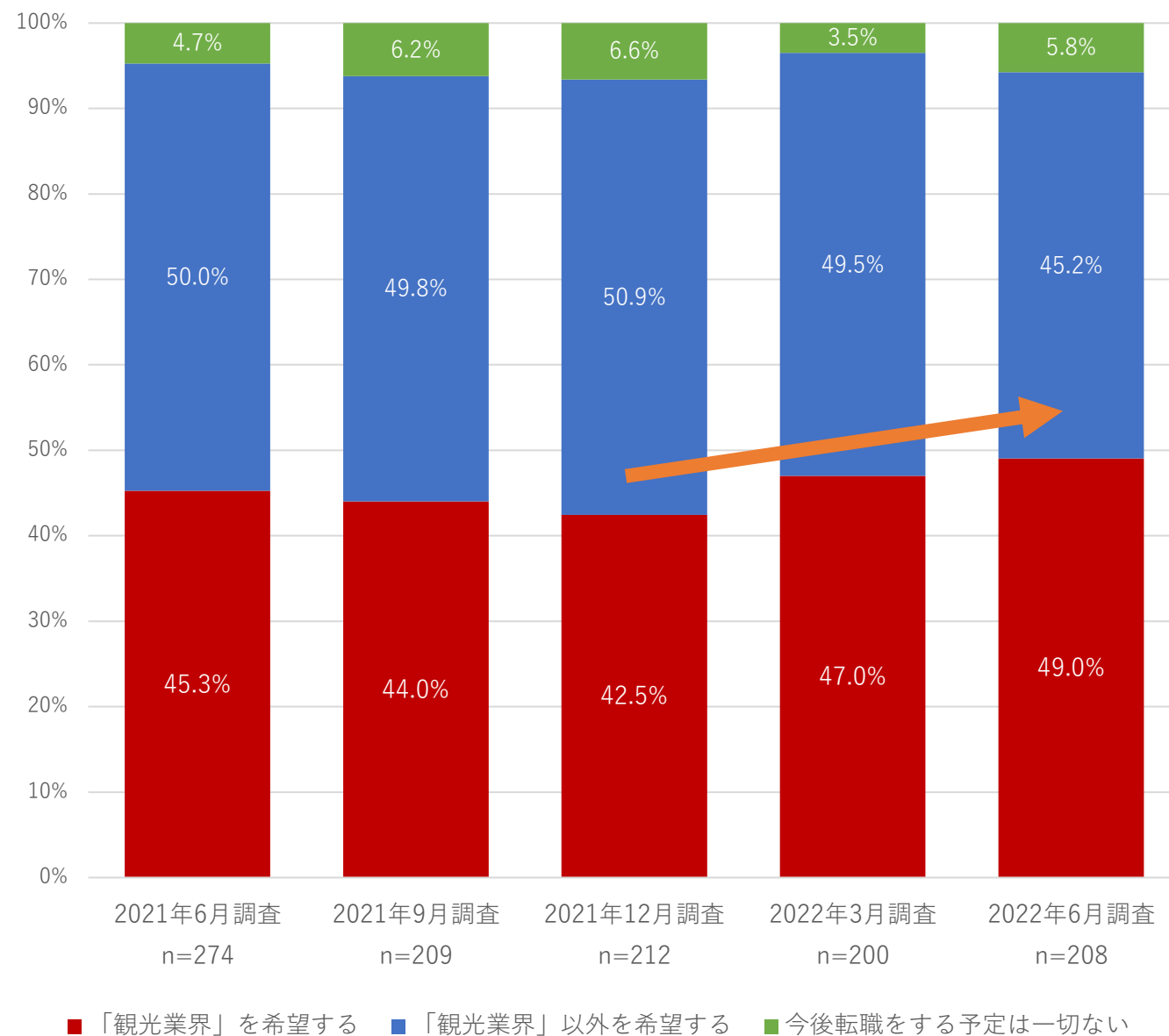


今後転職する
予定は一切ない

転職する場合の希望業界調査：全世代（1年間の推移）

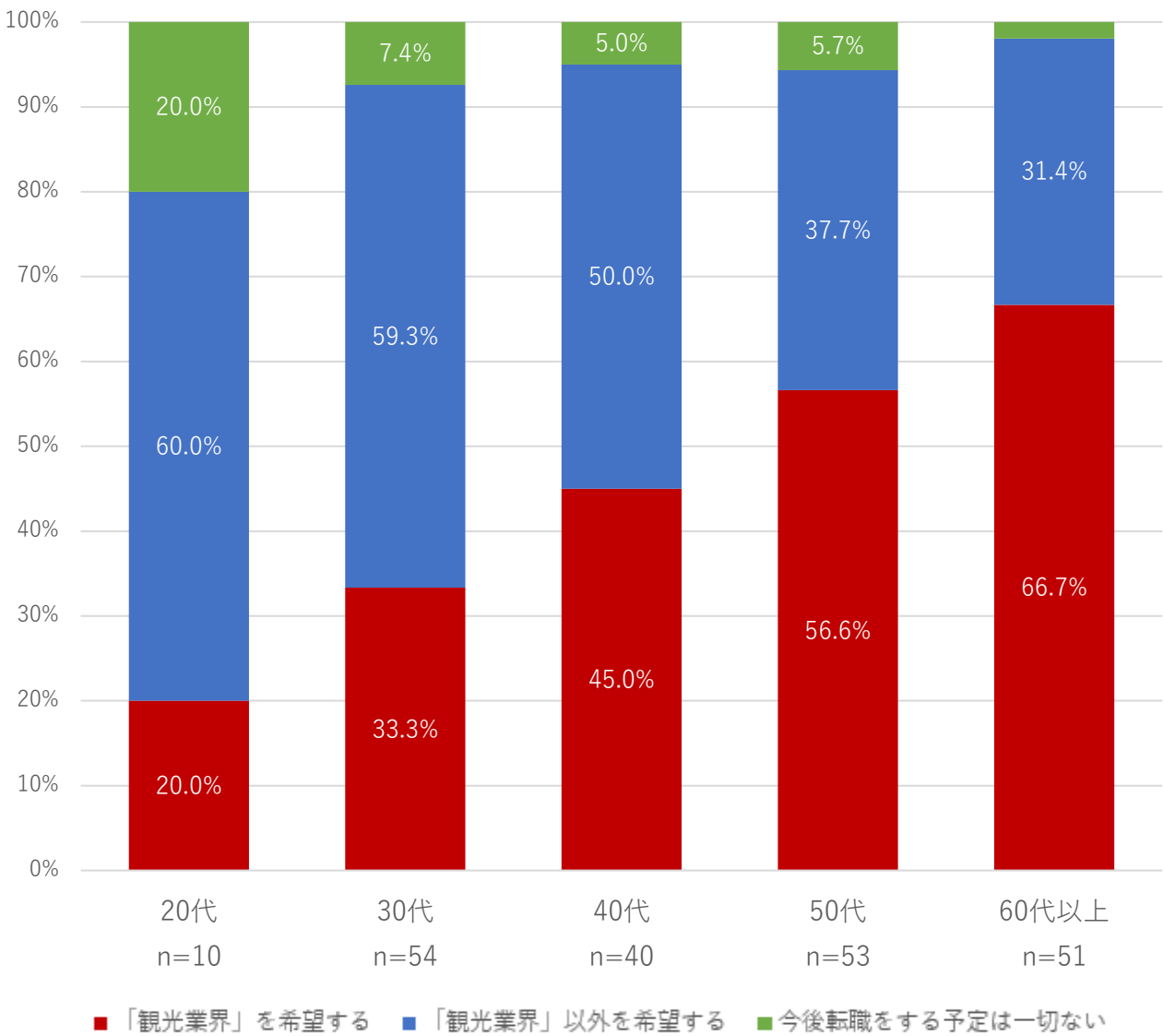
2021年12月以降は

「観光業界」を希望する方が
少しずつ増えてきているが、
割合としては半数以下に留まる。



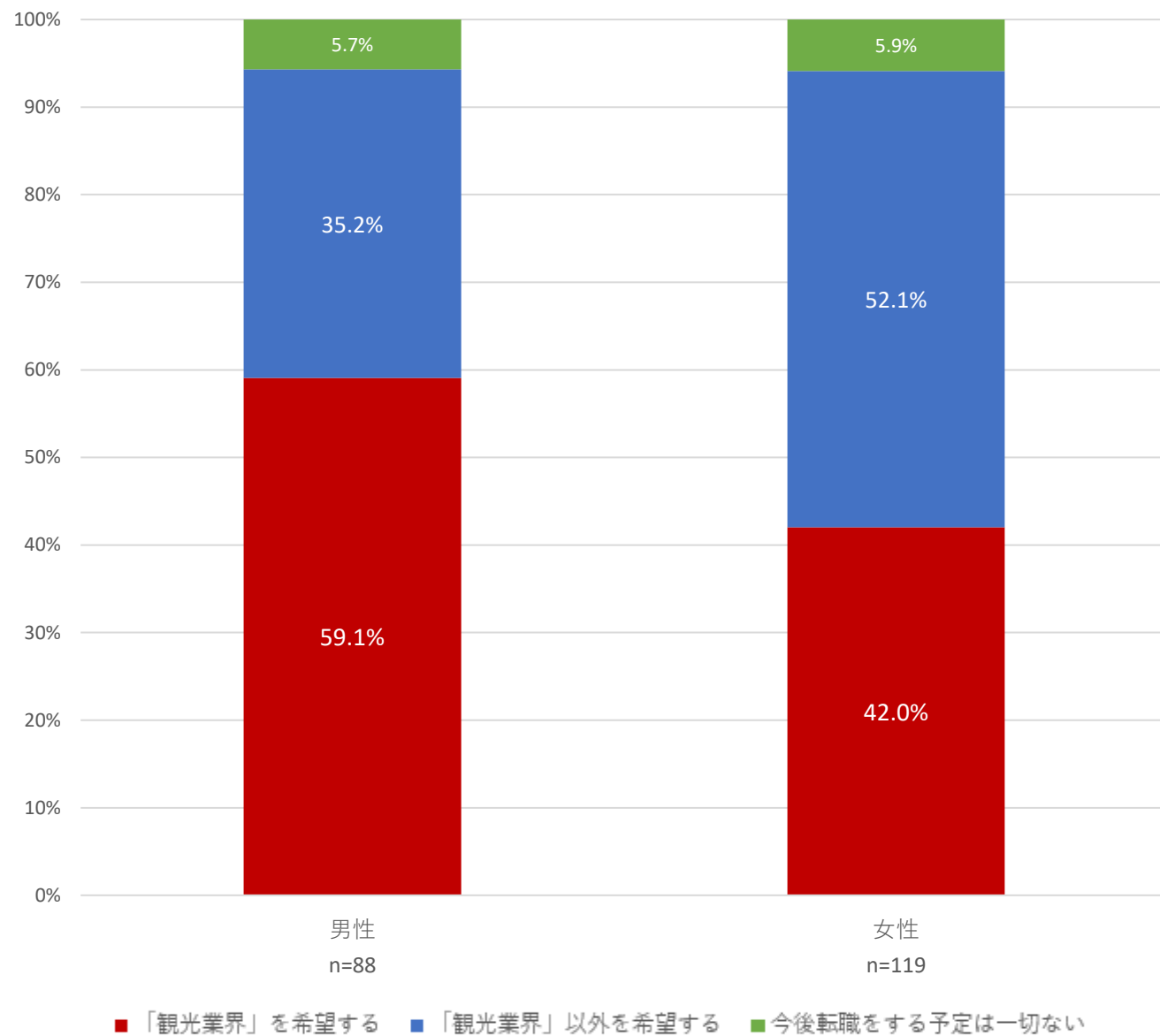
転職する場合の希望業界調査：年齢別（2022年6月調査）

若い世代ほど
「観光業界」を
希望しない方が多い。



転職する場合の希望業界調査：性別（2022年6月調査）

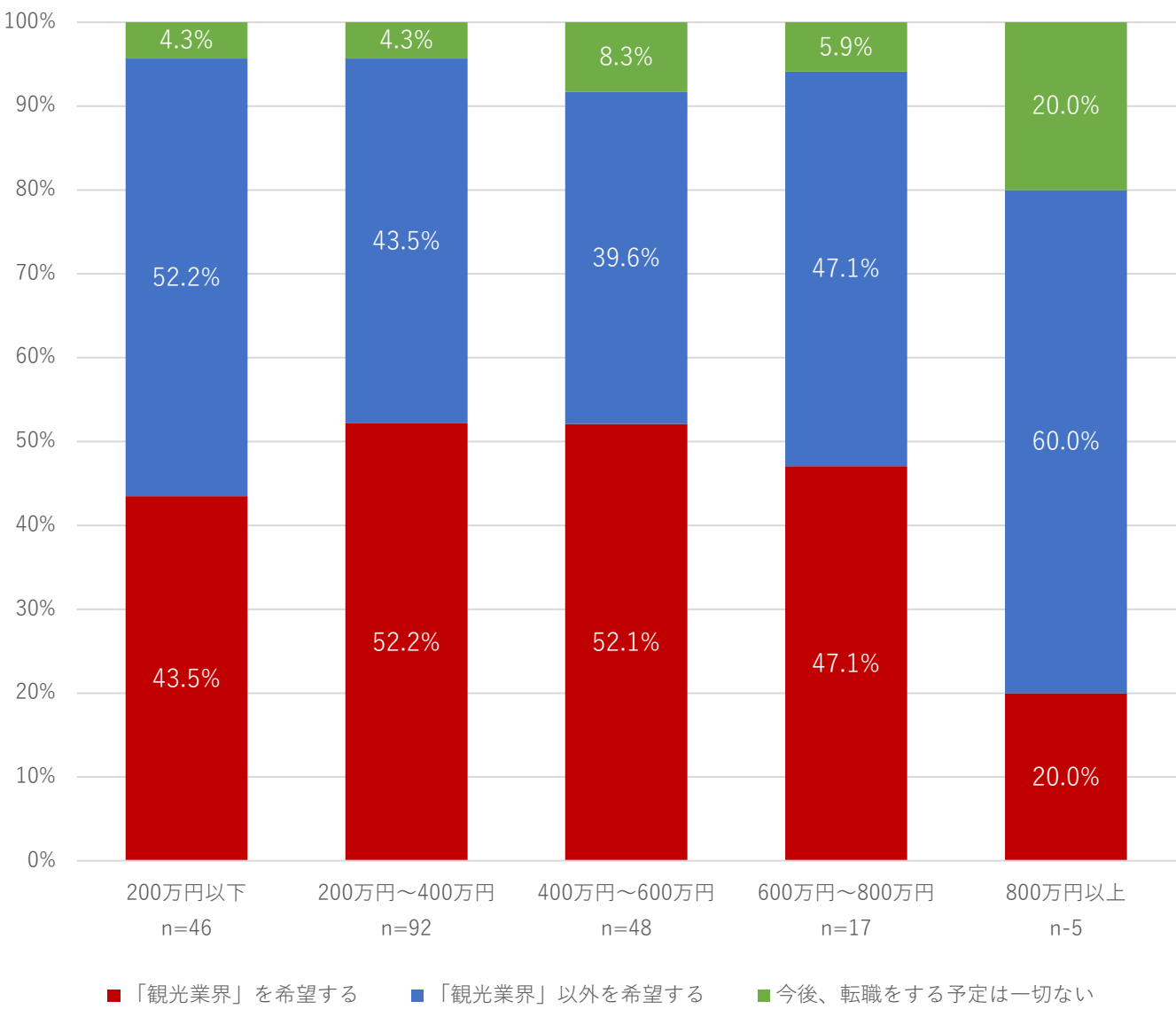
男性の方が女性と比較して
「観光業界」を希望する割合が高い。



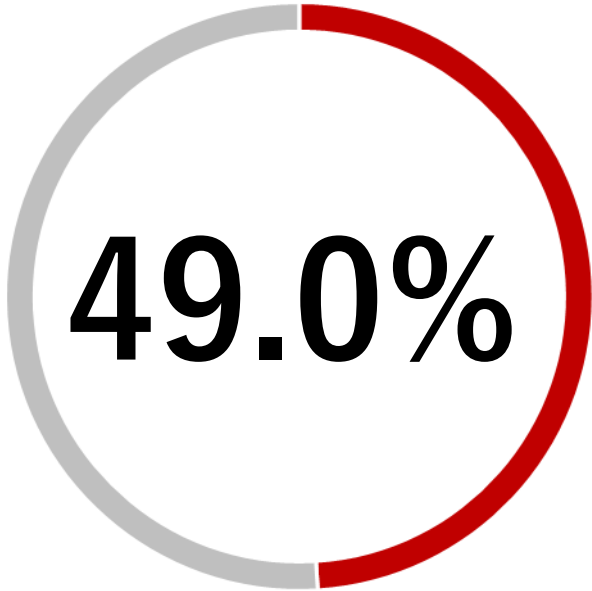
転職する場合の希望業界調査：年収別（2022年6月調査）

年収が200万円から600万円の方は
半数以上の方が「観光業界」を
希望すると回答。

一方で、年収が200万円以下および600
万円以上の方は「観光業界」以外を
希望する方の割合が多い。



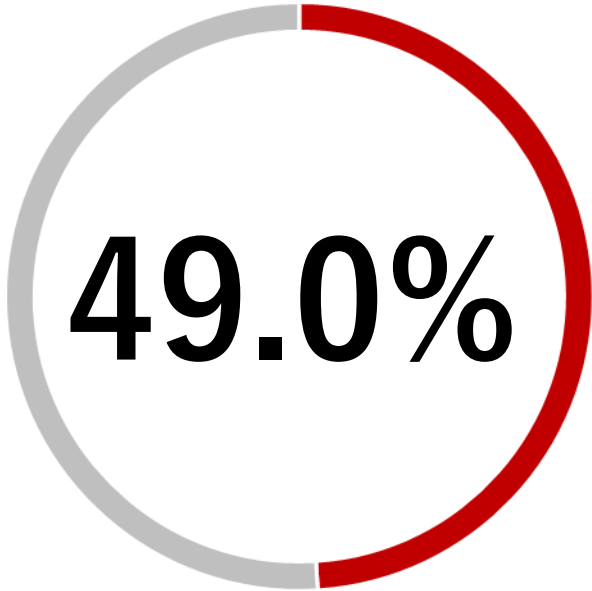
観光業界を希望する理由：全世代（2022年6月調査）



「観光業界」
を希望する

順位	観光業界を希望する理由 *複数回答可	
1	これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから	65.7%
2	グローバルな環境で働きたいから	53.9%
3	やりがいのある仕事だから	51.0%
4	仕事内容が魅力的だから	50.0%
5	ダイバーシティのある	33.3%
6	観光系の学問を学んでいる、もしくは学んでいたから	26.5%
7	観光業は将来性のある業界だから	26.5%
8	社会的に意義のあるしごとだから	25.5%
9	他業界でゼロからスタートするのが不安だから	8.8%
10	収入面が自身の希望と合っているから	6.9%

観光業界を希望する理由TOP5：世代別（2022年6月調査）



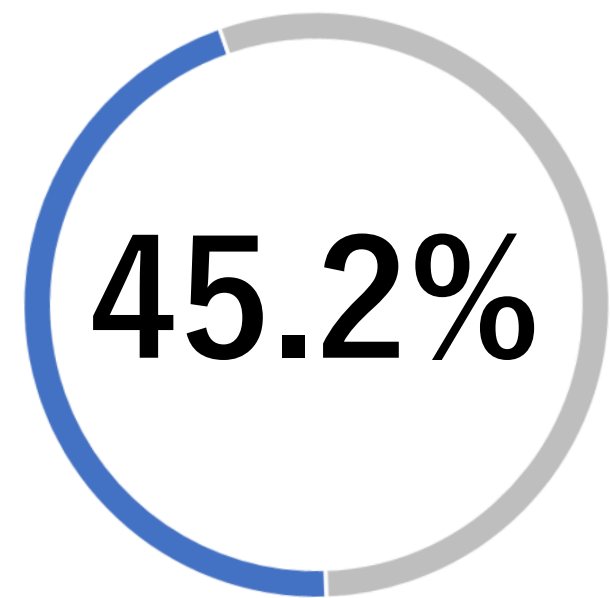
「観光業界」
を希望する

順位	20～30代（回答者数：64人） *複数回答可	
1	これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから	65.0%
2	グローバルな環境で働きたいから	65.0%
3	やりがいのある仕事だから	60.0%
4	仕事内容が魅力的だから	50.0%
5	ダイバーシティのある（性別・年齢・国籍などに関わらず働きやすい）業界だから	40.0%

順位	40～50代（回答者数：93人） *複数回答可	
1	これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから	68.8%
2	やりがいのある仕事だから	54.2%
3	仕事内容が魅力的だから	50.0%
4	グローバルな環境で働きたいから	45.8%
5	ダイバーシティのある（性別・年齢・国籍などに関わらず働きやすい）業界だから	33.3%

順位	60代以上（回答者数：51人） *複数回答可	
1	グローバルな環境で働きたいから	58.8%
2	これまでに観光業界で働いた経験を活かしたいから	55.9%
3	仕事内容が魅力的だから	50.0%
4	やりがいのある仕事だから	41.2%
5	社会的意義のある仕事だから	38.2%

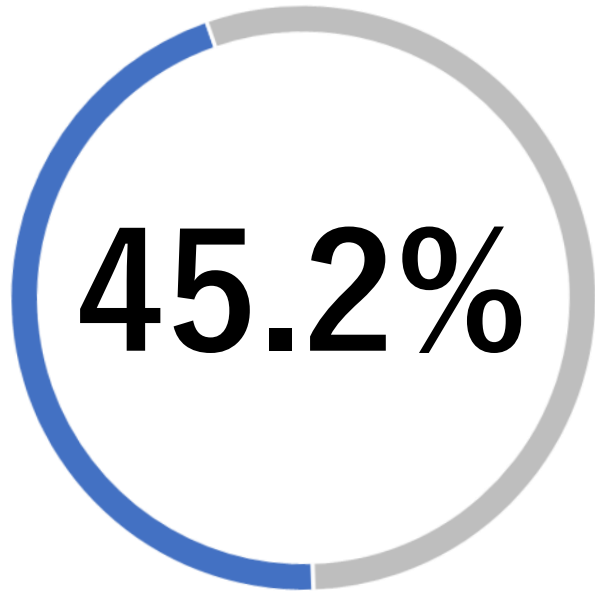
観光業界を希望しない理由：全世代（2022年6月調査）



「観光業界」以外
を希望する

順位	観光業界を希望しない理由 *複数回答可	
1	コロナなどの影響を受けやすい業界だから	54.7%
2	土日や長期休暇に休みが取れないから	35.8%
3	シフト制で労働時間が不安定だから	26.4%
4	待遇が悪いから	18.9%
5	拘束時間が長いから	14.2%
6	希望する職種がないから	13.2%
7	他に目指している業界があるから	10.4%
8	成長の機会がないから	7.5%
9	将来性がない業界だと思うから	7.5%
10	仕事内容に魅力を感じないから	0.9%

観光業界を希望しない理由TOP5：世代別（2022年6月調査）



「観光業界」以外
を希望する

順位	20～30代（回答者数：30人） *複数回答可	
1	コロナなどの影響を受けやすい業界だから	73.7%
2	土日や長期休暇に休みが取れないから	47.4%
3	シフト制で労働時間が不安定だから	42.1%
4	待遇が悪いから	26.3%
5	拘束時間が長いから	23.7%

順位	40～50代（回答者数：40人） *複数回答可	
1	コロナなどの影響を受けやすい業界だから	57.5%
2	土日や長期休暇に休みが取れないから	25.0%
3	待遇が悪いから	17.5%
3	シフト制で労働時間が不安定だから	17.5%
5	希望する職種がないから	15.0%

順位	60代以上（回答者数：16人） *複数回答可	
1	コロナなどの影響を受けやすい業界だから	43.8%
2	土日や長期休暇に休みが取れないから	31.3%
3	シフト制で労働時間が不安定だから	18.8%
3	希望する職種がないから	18.8%
5	拘束時間が長いから	12.5%

仕事を探す際に重視する項目：全世代（2022年6月調査）

